

今、日本の食事は大別して内食(47%) 外食(25%) 中食(5%) とされております。

数年前からこの外食産業のうち、学校、保育所、事業所、ゴルフ場等、合理化の一環として外部委託をする傾向が見られます。

私達の君津市でも学校、保育所の給食を民間へと委託しようと言う論議が行われております。

理由は学校給食、保育所の補助金の削減であります。

元来学校給食が施行された理由は、次代を担う子供達の「教育の一環として学校で給食を行う」であります。

補助金の削減のための合理化を目的として「民間委託を」となれば、子供の将来の健康を育て守るためにも、十分な論議が今後必要であります。

現在、全国では13%が委託されております。

若し君津市が民間委託をされるならば、子供達のためにも地域で唯一の公的経済団体である、商工会議所に全面委託をさせて頂きたいと思っております。そして「地産地消」のためにも生産者、小売業界、飲食業界が協力して、相乗効果、経済効果により地元経済界の活性化の柱としたいと今から提案し、多くの会員の方達の共鳴する声を大きくして頂き、市の関係者に届く様に特にお願い申し上げます。

また、近隣の中小病院・老人ホーム等においても、病院給食の委託がなされています。アンテナを高くされて受託を考えられるのも、難しいとされる今後の飲食業界の新しい分野の開拓であり、安定した顧客を獲得できるよい方法はないかと考えます。